

## 2025年日本国際博覧会 パビリオン・施設の紹介 (No.4)

### シグネチャーパビリオンいのちを知る いのち動的平衡館 (福岡館)

【実施設計、監理】鹿島建設・NHAグループ

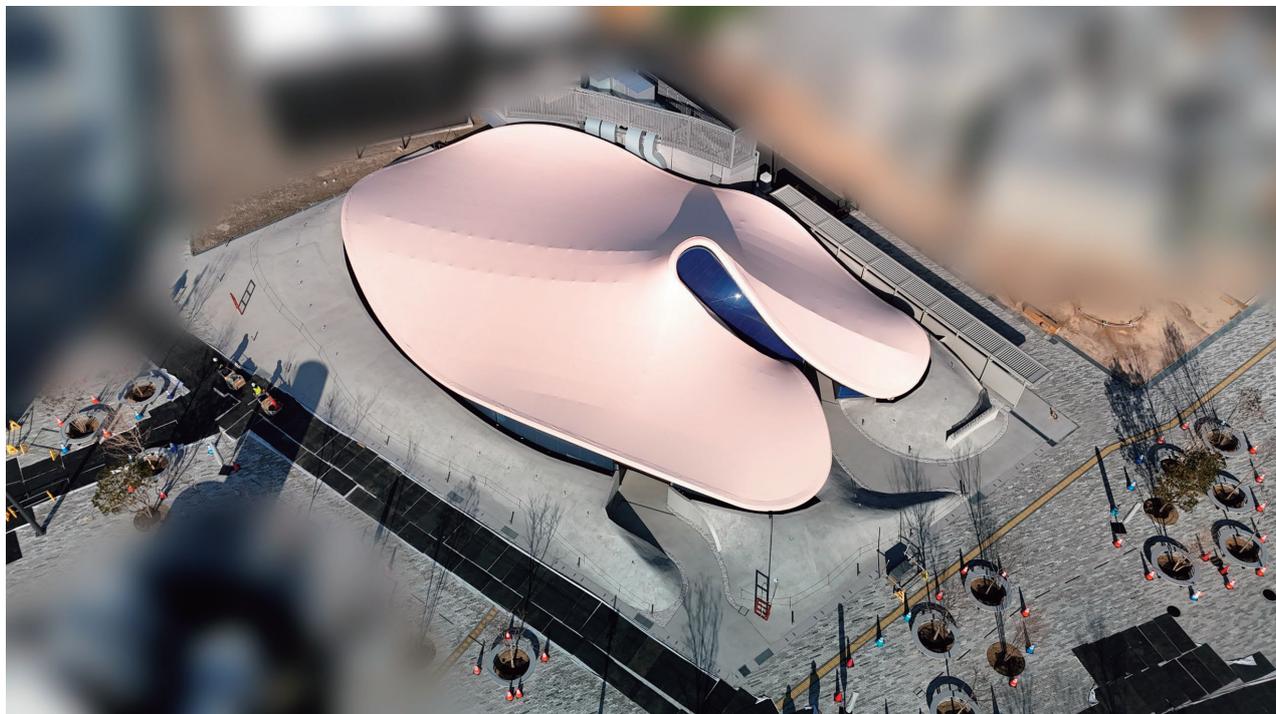


図-1 現場全景写真 (協力：2025年日本国際博覧会協会)



図-2 正面写真 (協力：2025年日本国際博覧会協会  
Photo : Masao Nishikawa)

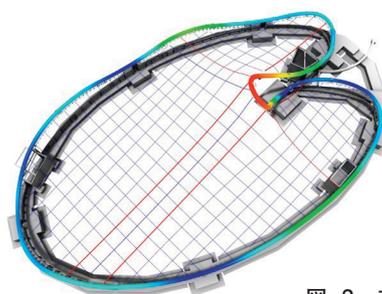


図-3 フレーム図

#### 【パビリオンの概要】

生命の根源をテーマにしたシグネチャーパビリオンで、「動的平衡」という福岡伸一プロデューサーの考えを具象化した。一般的なケーブルネットによるサスペンション膜構造とは異なり、ケーブルに張力が加えられると緊張端部が変形するという特徴のある建築物です。展示棟はジェットコースターのように隆起する地上リングと格子状に張られたケーブルの上に膜を掛けた屋根が印象的で、基礎フレーム・地上リング・ケーブルの3つの要素がお互いにバランスし、25m超の無柱の大空間を構築した絶妙な平衡状態を保つ非常に難易度の高い建築物です。

#### 【設計概要】

所在地：大阪府大阪市此花区夢洲中1丁目  
工期：2023年11月～2025年2月(15か月)  
基本計画、基本設計

：NHA | Naoki Hashimoto Architects

実施設計、監理：鹿島建設・NHAグループ

施工：鹿島建設株式会社関西支店

敷地面積：1,635.51m<sup>2</sup>

建築面積：942.55m<sup>2</sup>

延床面積：984.51m<sup>2</sup>

階数・高さ：地上1階建、8.8m

構造：鉄骨造／サスペンション膜構造

当施設の確認検査及び建築技術安全審査は、(一財)日本建築総合試験所が実施しました。